

2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年6月25日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <https://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR・広報室室長 (氏名) 菊本 健司

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	679	17.7	229		250		452	
2019年9月期第2四半期	825	11.3	6		10		5	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	183.57	
2019年9月期第2四半期	2.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	1,993	245	12.3	99.83
2019年9月期	2,477	759	30.7	308.42

(参考)自己資本 2020年9月期第2四半期 245百万円 2019年9月期 759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		25.00	25.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,460	34.2	392		421		573		232.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	2,513,800 株	2019年9月期	2,513,800 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	50,300 株	2019年9月期	50,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	2,463,500 株	2019年9月期2Q	2,463,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の家計支出が減少し景況感も悪化した中で、期の後半からは新型コロナウイルス感染症の広がりから国内外の経済活動に急速に影響を及ぼしており、先行きを見通すことが難しい状況が続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、消費税増税による消費者の節約志向に続き、新型コロナウイルス感染症の広がりから、当社の顧客先である外食企業は、大変厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、創業時より一貫し、外食企業を中心とした顧客に対し、利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム「Timely」を主力に「食材費」・「人件費」の二大原価の透明化を掲げたシステムをASP/パッケージシステムで提供するとともに、業界に特化したPOSシステム、オーダーリングシステム、周辺サービス等を通してトータルソリューションシステムを提供しております。

その結果、当第2四半期累計期間は、軽減税率対応によるシステム投資が終了したあと、新型コロナウイルスの広がりからシステム投資を控えたことにより、売上高679,665千円(前年同四半期比17.7%減)、営業損失229,309千円(前年同四半期は営業損失6,473千円)、経常損失250,784千円(前年同四半期は経常損失10,097千円)、四半期純損失452,216千円(前年同四半期は四半期純損失5,301千円)と減収減益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である外食企業に対し、ASPサービス事業を核としてASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、売上高は644,731千円(前年同四半期比19.2%減)となり、セグメント損失は197,843千円(前年同四半期はセグメント利益354千円)となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規計上及び既存顧客へのサービス拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売を行った結果、当事業領域の月額サービスの新規計上及びシステム投資は例年通り、年末年始の繁忙期のためのシステム投資控えである期間であるとともに軽減税率対応によるシステム投資が終了したことにより、売上高は509,995千円(前年同四半期比9.6%減)となりました。

なお、月額サービス料は、6ヶ月累計で446,814千円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムについて、新規及び既存顧客の出店対応及びリプレイスなどを行った結果、売上高は95,335千円(前年同四半期比38.6%減)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などの販売を行った結果、機器の販売からソフトウェア製品販売にシフトしたことにより、売上高は39,400千円(前年同四半期比49.9%減)となりました。

(ホテル関連事業)

当社は、ナチュラルグリーンパークホテルの管理運営を行っております。当事業におきましては、売上高は34,934千円(前年同四半期比25.9%増)となり、セグメント損失は31,465千円(前年同四半期はセグメント損失6,827千円)となりました。

(2) 財政状態の状況

①財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,993,954千円となり、前事業年度末に比べ483,327千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金282,479千円、売掛金135,799千円、繰延税金資産82,511千円などの減少があった一方で、未収入金30,404千円、ソフトウェア16,812千円の増加などによるものであります。

負債合計は1,748,024千円となり、前事業年度末に比べ30,523千円増加いたしました。これは主に未払法人税等146,115千円、長期借入金64,170千円、買掛金44,650千円などの減少があった一方で、短期借入金200,000千円、社債108,500千円、1年内償還予定の社債31,500千円の増加などによるものであります。

純資産は245,929千円となり、前事業年度末に比べ513,850千円減少いたしました。これは、四半期純損失452,216千円及び支払配当金61,587千円の計上に伴う利益剰余金513,804千円の減少などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動、投資活動及び財務活動により、前事業年度末に比べ282,479千円減少し、当第2四半期会計期間末には136,209千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は、380,986千円(前年同四半期は得られた資金10,988千円)となりました。これは主に、売上債権の減少による135,799千円などの資金の増加の一方で、税引前四半期純損失366,725千円の計上などによる資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、100,627千円(前年同四半期は使用した資金55,566千円)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出72,389千円及び有形固定資産の取得による支出36,761千円などによる資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は、199,134千円(前年同四半期は得られた資金68,073千円)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出64,170千円及び配当金の支払いによる支出60,985千円などによる資金の減少の一方で、短期借入れによる収入200,000千円及び社債の発行による収入145,861千円などによる資金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第2四半期累計期間の経営成績及び事業環境等を踏まえ、2020年5月8日に公表の「2020年9月期第2四半期の決算短信および四半期報告書の開示日程延期、業績予想及び配当予想の修正等について」において2020年9月期通期の業績予想を未定とさせていただいておりましたが、2020年6月25日に公表しました「業績予想の修正、中期経営計画の変更及び配当予想の修正及び役員報酬等の減額に関するお知らせ」で当期通期の業績予想について修正しております。

当第2四半期累計期間においては、当社の主要販売先である外食市場におきまして、消費税増税、人材不足などで人件費の高騰が続いている中、2020年2月頃より急速に新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、甚大な影響を及ぼしております。

このような環境の中、当社は計画通り、上期に受注効果をもっとも高い自社主催による「新製品発表会」を全国で開催し、前期同時期を大きく上回る「自動発注システム」見込み顧客を獲得し順調に推移する予定でしたが、新型コロナウイルスが直撃しシステム導入時期が延期したことにより、業績に甚大な影響を及ぼしました。同じくエネルギーコスト削減事業におきましても、新型コロナウイルスが収束した後の設置となり、営業活動に影響を受けております。

外食産業の人手不足は継続しており、技術特許を取得している当社の主力製品「飲食店経営管理システム(R)」拡張システムである「自動発注システム」を中心に、セルフレジ(当社製品名「セルフショット」)、配膳AIロボット(当社製品名「サービスショット」)は、新型コロナウイルスが収束し次第、引き続き順調に推移するものと見ておりますが、当面当社の主要ユーザーが新型コロナウイルスの影響を受けておりますため、2020年9月期通期に関しては、2020年6月25日に公表しました「業績予想の修正、中期経営計画の変更及び配当予想の修正及び役員報酬等の減額に関するお知らせ」で修正いたしました。また、同日に「中期経営計画(変更)の提出について」を公表しておりますので、併せてご参照ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,689	166,209
売掛金	198,927	63,128
商品	352,088	351,884
貯蔵品	25,599	40,104
前渡金	52,402	47,123
前払費用	19,100	18,499
短期貸付金	73,440	64,800
未収入金	41,575	71,979
その他	1,079	499
貸倒引当金	△43,369	△51,878
流動資産合計	1,169,533	772,351
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	363,829	358,672
構築物(純額)	15,365	14,590
工具、器具及び備品(純額)	136,858	142,694
土地	130,838	130,838
リース資産(純額)	69,569	62,815
建設仮勘定	845	395
有形固定資産合計	717,305	710,005
無形固定資産		
ソフトウェア	211,682	228,495
ソフトウェア仮勘定	94,187	77,445
電話加入権	2,445	2,445
特許権	486	439
無形固定資産合計	308,801	308,826
投資その他の資産		
関係会社株式	10,200	10,200
出資金	10	10
長期前払費用	138,672	140,924
敷金及び保証金	27,573	22,438
繰延税金資産	82,511	-
長期未収入金	79,427	79,427
その他	20,325	23,259
貸倒引当金	△79,787	△79,787
投資その他の資産合計	278,933	196,471
固定資産合計	1,305,040	1,215,303
繰延資産		
社債発行費	2,708	6,299
繰延資産合計	2,708	6,299
資産合計	2,477,282	1,993,954

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,519	32,869
短期借入金	520,000	720,000
1年内償還予定の社債	20,000	51,500
1年内返済予定の長期借入金	128,341	128,341
リース債務	22,644	26,352
未払金	79,671	112,646
未払費用	15,878	8,999
未払法人税等	151,422	5,307
預り金	13,916	17,918
前受金	152,236	152,048
賞与引当金	43,299	—
未払消費税等	38,981	—
その他	—	2,160
流動負債合計	1,263,911	1,258,143
固定負債		
社債	70,000	178,500
長期借入金	292,065	227,894
リース債務	52,805	53,604
退職給付引当金	28,596	29,882
その他	10,122	—
固定負債合計	453,589	489,881
負債合計	1,717,501	1,748,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	△67,996	△581,800
自己株式	△37,840	△37,840
株主資本合計	759,748	245,944
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	△14
評価・換算差額等合計	31	△14
純資産合計	759,780	245,929
負債純資産合計	2,477,282	1,993,954

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	825,821	679,665
売上原価	456,184	526,356
売上総利益	369,636	153,308
販売費及び一般管理費	376,110	382,618
営業損失(△)	△6,473	△229,309
営業外収益		
受取利息	5	9
受取保険金	1,670	—
助成金収入	900	—
その他	385	111
営業外収益合計	2,961	120
営業外費用		
支払利息	5,296	4,889
支払保証料	50	281
支払補償費	—	7,127
支払手数料	1,237	648
貸倒引当金繰入額	—	8,100
その他	1	548
営業外費用合計	6,585	21,595
経常損失(△)	△10,097	△250,784
特別損失		
特別調査費用	—	115,940
特別損失合計	—	115,940
税引前四半期純損失(△)	△10,097	△366,725
法人税、住民税及び事業税	4,105	2,959
法人税等調整額	△8,900	82,531
法人税等合計	△4,795	85,491
四半期純損失(△)	△5,301	△452,216

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△10,097	△366,725
減価償却費	74,825	86,843
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△205	8,508
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,346	△43,299
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,251	1,285
受取利息及び受取配当金	△5	△9
支払利息	5,296	4,889
支払手数料	1,237	648
特別調査費用	-	115,940
売上債権の増減額(△は増加)	39,773	135,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,483	△14,301
仕入債務の増減額(△は減少)	46,333	△44,650
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△38,940	970
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△60,018	△77,009
その他	1,326	△9,358
小計	17,443	△200,468
利息及び配当金の受取額	5	9
利息の支払額	△5,296	△5,076
特別調査費用の支払額	-	△35,633
法人税等の支払額	△1,164	△139,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,988	△380,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,879	△36,761
無形固定資産の取得による支出	△23,452	△72,389
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
その他	1,766	11,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,566	△100,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	70,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△64,170	△64,170
リース債務の返済による支出	△8,626	△11,570
社債の発行による収入	96,990	145,861
社債の償還による支出	-	△10,000
自己株式の取得による支出	△98	-
配当金の支払額	△24,539	△60,985
その他	△1,481	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,073	199,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,495	△282,479
現金及び現金同等物の期首残高	143,971	418,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	167,467	136,209

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、四半期純損失452,216千円を計上し、また、支払配当金61,587千円を計上したため、利益剰余金が前事業年度末に比べ513,804千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	798,077	27,744	825,821	—	825,821
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	22,967	22,967	△22,967	—
計	798,077	50,711	848,788	△22,967	825,821
セグメント利益又は損失 (△)	354	△6,827	△6,473	—	△6,473

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	644,731	34,934	679,665	—	679,665
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,244	9,244	△9,244	—
計	644,731	44,178	688,910	△9,244	679,665
セグメント損失(△)	△197,843	△31,465	△229,309	—	△229,309

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。